

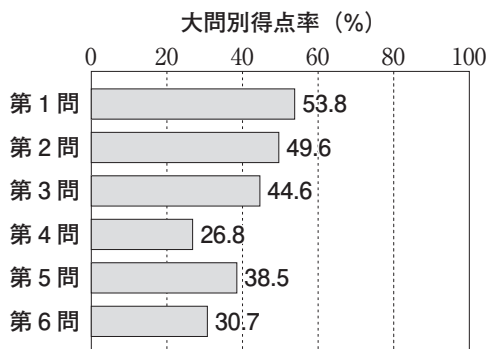
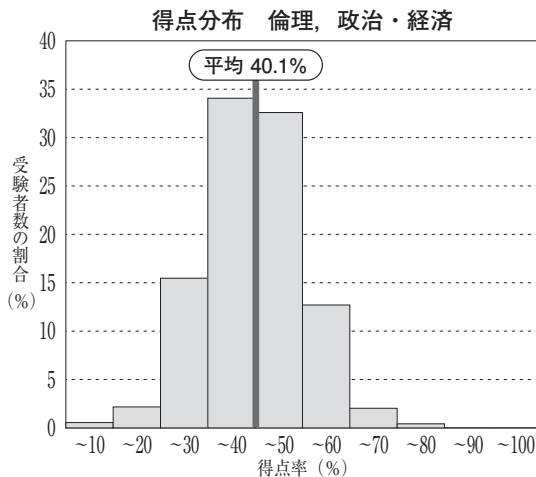
倫理, 政治・経済

まだ受験勉強は始まったばかり。ここから一歩ずつ進んでいこう。

I. 全体講評

今回の「第1回2月センター試験本番レベル模試 倫理, 政治・経済」の平均点は、40.1点であった。あまり点がとれずにごっかりした受験者もいるかもしれないが、伸びしろの大きさを前向きに捉えてほしい。東進の「センター試験本番レベル模試」を自分の学習状況を測る目安にして、12月の模試まで得点を積み上げていこう。

今回、資料文や統計の読解問題でも解けなかった受験者は、少し反省してもらいたい。模試であっても真剣に、少しでも点を取りにいく姿勢がほしい。



II. 大問別分析

第1問 青年期分野・現代社会分野

よく分からない事柄については正誤を断定しないよう気をつけよう。

青年期・現代社会分野全体の得点率は53.8%であった。問1 [1] の正答率はわずか15.6%だった。エリクソンといえば発達課題と、条件反射的に①は正文と判断し、記述内容まで吟味しない受験者が多かったであろう。よく分からない事柄が記述されていたら、何となく正誤判定するのではなく、とりあえず保留する習慣をつけたい。

第2問 源流思想・日本思想分野

日本思想分野の知識問題は正答率がすべて4割を割り込んだ。

得点率は49.6%であった。古代の仏教の特徴についての問1 [6] では、誤文である②を選んだ受験者が実に66.5%であった。その他、日本思想に関わる設問は4問すべてで正答率が4割に満たず、多くの受験者が未習であったことが分かる。学んでいない分野で正答できないのは仕方ないが、放置せずに解説を読み、理解するよう心がけてほしい。

第3問 源流思想・西洋近現代思想分野

未習領域が多く、形式・内容ともに受験者にとって苦しいものだった。

得点率は44.6%と、倫理分野では最も低かった。問2 [14] と問4 [16] の2題は組合せ6択問題で、予想通りに極めて低い正答率であった。また問5 [17] ではソシュールについて問われたが、各選択肢の選択率はほぼ均等に割れた。受験者の多くは名前すら聞いたことがなかったかもしれない。まともに点がとれていたのはキリスト教についての問1 [13] と、文章読解問題(問3 [15], 問6 [18]) だけであった。

第4問 国会・内閣

多くの設問で正答率が20%台にとどまった。

得点率は26.8%と、大問全体で最も低かった。正答率が50%を超えた設問が1題もなく、ほとんどが20%前後だった。国会と内閣については中学校の公民でも学んでいるはずだし、何となく聞いたことのある言葉が多かったはずだが、正確な知識と理解を身に付けていくのはこれからというところであろう。

第5問 国民所得

上出来とは言えないが、この時期にしては健闘したと言える。

得点率は38.5%と、政治・経済分野の中では最も高かった。正答率が50%を超えた設問は1題しかなく、その他はおおむね40%前後だったが、「一般常識」で解ける類のものではないので、時期を考えるとまずまずの出来と言っていいかもしれない。

第6問 国際通貨体制

知識なしで解ける設問以外は、いずれも正答率が30%を下回った。

大問としての得点率は30.7%であった。国際金融機関についての問3 [34]だけ正答率が60%近かったが、これは知識がなくても答えを推測できる設問であった。その他の設問はいずれも正答率が30%を割り込んだ。国際経済分野は政治・経済で最後に学ぶのが普通なので、時期を考えると仕方ないだろう。

Ⅲ. 学習アドバイス**◆まずは全分野を概観しよう。**

今回、センター試験型の模擬試験を初めて経験した受験者も多かったことだろう。まったく歯がたたなくて、落胆してしまった者もいるかもしれない。しかし東進の模試は学習進度を配慮して「手加減」してはいないから、本番並みに得点できないのは、当然のことなのである。残りの11か月間で着実にレベルアップしていくように、計画的に学習を進めてほしい。

そのためにまず必要なことは、倫理と政治・経済の全分野をできるだけ早く概観することである。誤解されがちなのだが、「倫理、政治・経済」という

科目では、倫理と政治・経済の2科目分を網羅的に学習しなければならない。たかが公民と思って後回しにすると、痛い目にあう。理解できなくてもいいので、とにかくそれぞれの教科書を最後まで通読するところから始めよう。おおよそどんなことが主題となっているのかということだけでも把握しておけば、見通しが立つようになってくることだろう。

◆次回の模試に向けて。

ただ、早く概観すべきとはいっても、焦ることはない。まずは自分が学習した範囲について、目標正答率が獲得できるようにしてほしい。学んでいない範囲が正答できないということと、学んだ範囲であるにもかかわらず正答できないということでは、意味がまったく違う。

この時期はまだ多くの分野が未習であろうが、これからそうした分野はどんどん少なくなっていくはずなので、回を追うごとに、より高い得点が求められるようになってくる。今後の模試も、今回の点数を下回らないよう、毎回少しずつ点数が上がっていくように頑張ってもらいたい。